

チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	- (事務局用)	人口減少社会における公共交通の利活用の可能性について	八戸市
アイデア名 (注1) (公開)	バスの利用率を増やそう		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2017 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	面白い恋人		
チーム属性 (公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム	<input checked="" type="radio"/> 2. 学生によるチーム	<input type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム
メンバー数 (公開)	6 名		
代表者情報	氏名 (公開)	和井内憲一郎	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2017_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2017 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2017@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。

3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)

5. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、や知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。

7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの論拠、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

（1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれが、何を、どこで、いつ、どのように、する公共サービス（活動）なのか、これらの要素を入れて内容そのものをわかりやすく示してください。1 ページ以内でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

私たちは、八戸市内のバス利用率が少なく、かなりの赤字になっていることを知ったため、公共交通の柱である路線バスの、利用率を上げるためのアイデアを考えた。

多くの高校生は、通学的手段として、路線バスを利用する人が多いです。そこで対象を高校生に絞り考えることにした。私たち商業生の場合は、学校から一番近いのがサークルKサンクスだ。そのため、放課後そこまで歩いて、お菓子や飲み物を買に行く生徒が多い。そのサークルKサンクスの前にバス停があるのだが、そこから乗ると適用区間外のため、初乗り料金として150円かかってしまう。私たち学生からすると、高いと感じる。だから、プラス50円で乗ることができると、利便性が上がり、乗る人が増えると思う。そして、高校生がよく利用するラピアやピアドゥなどのショッピングモールにもプラス50円で行くことができればさらに利用したくなる人も増えると思う。（④）また、外で待つと暑いし、寒いし、つらい。そのため、コンビニなどの快適な店内で待ちたい。だから、コンビニの近くにバス停を作ってほしい。また、その店内にバス接近情報やバスの時刻表があると、とても便利である。（⑤）更に、バスの乗車回数によって、割引券や商品券をもらえて、コンビニ・スーパー・書店で利用できたら、とてもお得な気分になるし、お店側でも売り上げが上がる。（③）あと、バスの乗車中は退屈なので、w i - f i 環境があると、暇つぶしになり、とてもうれしい。また、バスの車内でそのバスでしか見られない映画や人気のテレビアニメ、ドラマを流すと、より車内での時間が有効に使うことができる。また、テスト週間の時には、各高校と連携して、テスト対策の問題を流してくれれば、学生にとってはとてもありがたく学力向上にも役立つだろう。また、その画面が見えない時には、w i - f i 環境があるとスマートフォンでも見るようになるので便利である。（①. ⑦）定期券を忘れる人は多いがスマートフォンを忘れる人は少ない。だから、定期券のアプリをスマートフォンに入れると、忘れることもなく支払いも簡単で早くなる。（②）市外から学校に来るひとは、南部バスの定期券と市営バスの定期券の二つを持たないといけないため、不便である。定期券が一つで済めば、降車時に見せる定期券を間違えることもなく、定期発行時も一回で済むので楽になり負担が減る。（⑥）

サービス

1. バス車内で映画（アニメ・ドラマ）、学習情報を流す
2. 支払い方法を簡単にするために、スマホのアプリを作る
3. 乗車回数ごとに特典（コンビニ・スーパー・書店と連携）
4. 定期券+50円で適用区間外も乗車可能
5. コンビニ、スーパー、書店の前にバス停を設置、更に店内にバス接近情報を設置
6. ひとつの定期で南部バスと市営バスを利用できるようにする
7. 車内にWi-Fi環境を設置

(2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアなのかの理由付け）について、それをサポートするデータ（統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの定性データ）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつ、2 ページ以内でご記入ください。データ類は出所を明らかにしてください。

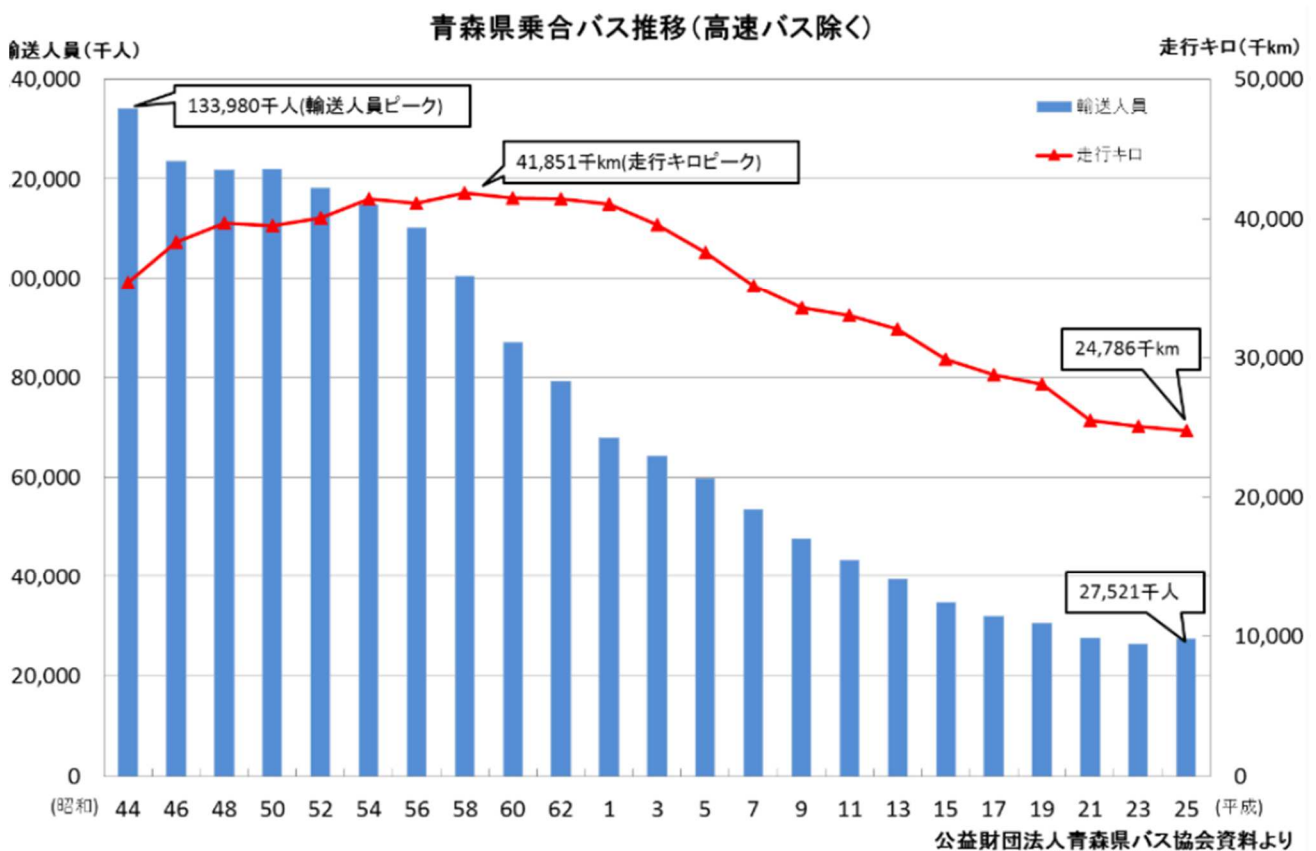
私たちは、バスの利用率を上げ赤字を解消させるためにいくつかの解決策を考えた。

これらをまとめてひとつの案にした。

コンビニ、スーパー、書店の前にバス停を設置し、店内にバス接近情報を設置、更に+50円で定期区間外の乗車を可能にする。南部バスと市営バスどちらのバスも使用可能にする。バスの乗車回数で得たポイントを使って商品を買うことによってバスの利用率アップ+コンビニやスーパー、書店の売り上げにも貢献できる。

また、バス車内の利便性向上を目的として、映像提供、Wi-Fi サービス提供をする。

私たち高校生が、利用しやすいバス環境であれば、市民や観光客にも歓迎されると思われる。



参考文献) 青森県 青森県地域公共交通網形成計画 公益社団法人青森県バス協会資料

平成 28 年 3 月 4p

画像提供) 青森県 青森県乗合バス推移(高速バス除く)

「青森県地域公共交通網形成計画 (公益社団法人青森県バス協会資料に基づく)」

① について

長時間バスに乗ると暇だから。バスの車内で話題の番組などが流れていたら乗りたいという意見もあったため。また、テスト期間中に、塾の講師によるテストの解説などを流すと学生的にはありがたいと思う意見もあった。

② について

定期券を忘れてたりする人がいる。携帯電話を忘れる人はいないと思う。だから、携帯電話の中に定期券のアプリを入れれば支払いも早くなるし楽になると考えられる。実際に他県で電子決済を取り入れているバスがある。だから、八戸市にもこの方を取り入れもっと使いやすいバスになれば利用が増える。

③ について

八戸は交通政策が東北の中では発展していることが分かった。だから、八戸の交通機関をもっと利用する人が増えたいと思った。また、コンビニやスーパー、書店と連携することにより、それらの売り上げアップにもつながると考えた。

④ について

定期券の場合、適用区間外を乗車すると、初乗り料金である150円を支払うことになり、それは学生にとっては高く感じるため、定期券を持っている人に限り、+50円で適用区間外でも乗車することができると、乗車率が上がると思うからである。

⑤ について

バスを待つ間、天候を気にせず楽しめるように、コンビニ、スーパー、書店の付近にバス停を設置し、店内にはバス接近情報を設置してもらおう。

③・④のアイデアとの相乗効果でバス利用率が向上すると考えた。

⑥ について

市内に住んでいる人だったら、市営バスでたいいの人たちは利用することができるが、市外や遠いところからきている人は、南部バスも利用するため、定期券が異なる。そのため、面倒臭いと思う人もいだろう。だから、定期券が一緒だと、面倒臭くなくなり、2枚持つ必要がなく、今より楽になる。

⑦ について

ターゲットを、スマートフォンの利用率が高い高校生にした。このサービスはバス車内にWi-Fiを提供し、だれでも無料でWi-Fiを利用できるサービスである。

スマホ、タブレット端末、パソコン、Wi-Fi対応携帯電話等で利用できるようにする。

バスを利用する人と言ったら高校生が多いと考えた。そこで、定期券を持っていない高校生でも乗りやすいバスを考えたい。Wi-Fiサービスをすることで、退屈だと感じる人が通信制限を気にせずに自分の好きな動画などを見ることができる。よって、バス車内にWi-Fiサービスをつけようと考えた。

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法（制約がある場合にはその解決策を含む）、アイデアの**実現にいたるプロセスとマイルストーン**等、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

アイデア実現のためには、八戸市民の幅広い年齢層の人たちを集める必要がある。そのため、高校生ボランティア、町内会、企業と連携して宣伝活動をする。

① について

最近のバスにはディスプレイが設置されているのをよく見る。アンケートの結果、このディスプレイでドラマや映画、または高校生のテスト週間中にはテスト問題の解説を見られたらうれしいという意見が多く寄せられた。この意見をもとに市に願う。

② について

まずこのアイデアをバス会社に相談する。その後、バス会社や企業と連携してアプリを作る。

③ について

コンビニやスーパー、書店と連携する。乗車した回数によって、ポイントを付けて商品券や割引をできるようなシステムを作る。下の図のように、バスの乗車の際に取る整理券の半分を、1 ポイントのカードにして、半分を通常通りの整理券として使用する。

整理券	1 ポイント
-----	--------

そのまったポイントは、コンビニやスーパー書店で商品券やカードと交換できる。

④ について

アンケートをとった結果、定期 + 50 円で区間外も乗れるようになったら嬉しいという意見が多く寄せられた。このアンケートをもとにバス会社に相談する。

⑤ について

バス会社、企業、地域と相談する。

⑥ について

ラピア・ピアドウに行くためには南部バスに乗らなければならないが、市営バスの定期しか持っていないと、現金で支払わなければならないためとても大変だ。よって、市営バスと南部バス共用の定期券を作ってくれないか相談してみる。

⑦ について

Wi-Fi 環境を設置することをバス会社へ相談する。